



人権意識の高揚のために

11月16日(土)は、人権・同和教育参観日でしたので、学年に応じて、右のようなねらいをもった授業が、行われました。人権教育の基礎となる内容です。子どもたちは、授業の中で、相手の考えを認めることや自分自身を適切に肯定することの大切さを学びました。じっくり考えたり、友達と話し合ったりすることで人権意識を高めていました。

令和の時代になっても差別をされ続けている人、SNS等で誹謗中傷を受けている人、本来あるべき権利を主張してもそれが受け入れられない人など、人権問題はたくさんあります。

「多様性の時代」と言われていても、まだまだ認められていないこともあります。

子どもたちの中では、「いじめ」が身近な人権問題になります。

軽い気持ちで悪口を言ったりしても、相手が傷つくことは十分考えられます。ましてや、暴力を振るったり、金品を強要したりすることは「いじめ」を超えて犯罪行為になります。引き続き、いじめをしない、いじめを見逃さないということも、普段の生活の中で指導をしていきます。

参観日で行ったような授業や日々の指導を通して、子どもたち自身の手で人権問題を解決することができるようにしていきたいと考えています。

松山市のHPに人権教育に関する資料があります。必要に応じてご覧いただき、ご家庭でも話し合ってもらいたいと思います。今後も、子どもたちの人権意識の高揚にご協力をお願いいたします。

【人権教育における学習のねらい】

- 自分を大切にする。
- 生命を大切にする心情や態度を育てる。
- 自他の人格を尊重し、お互いの個性を認め合う心を育てる。
- 他人の気持ちを理解し、行動するなど、他人を思いやる心を育てる。
- 生活の中の、不合理や矛盾、差別や偏見に気付く感性を育てる。
- 正義感や公正さを重んじる心を育てる。
- 共に生きることの大切さを理解させるなどして、豊かな人間性を育てる。
- 他人と協調する心を育てる。



ハートラちゃんのメッセージカード

JRC委員会が、今年もハートラちゃんのメッセージカードづくりを企画しました。「ありがとう」を友達に伝える活動です。どんな「ありがとう」があったのでしょうか。

【ハートラちゃんのメッセージ】

♡ いつも遊んでくれてありがとう。逆上がり、もう少しでできるから一緒に頑張ろうね。

♡ 九九の7の段、頑張っていて偉いね。私も頑張っているから、一緒に頑張ろう。一緒に合格しようね。

♡ いつも遊んでくれてありがとう。あと1学期、よろしく。前、体育の時、けんかをして謝ってくれてありがとう。これからもよろしく。

♡ いつも優しくしてくれてありがとう。いつも配るのを頑張っているね。字がきれいだね。いつも支えてくれてありがとう。いつも頑張っているね。

こういった活動も、人権教育につながると考えています。



アラスカフォトライブ

人権・同和教育参観日、150周年記念行事とあわせて、写真家の松本紀生さんをお招きして、アラスカフォトライブを行いました。大勢の保護者の方にも見ていただきましたので、写真や映像の迫力についてはご承知のとおりです。お話しも大変上手で、子どもたちも松本さんの体験談に引き込まれていました。反応がとてもよかったので、正にライブを一緒につくり上げていた感じがします。

フォトライブでは、自然の厳しさや命の尊さを感じることができました。また、個人的には、自然の中ではいかに人間の力が小さいか、ということも思い知らされました。小さなことでいさかいを起こしているよりも、大きな自然を感じることに意味がある、と思いました。これも、もしかすると大きな意味で人権教育に関わることもかもしれません。

生き物の写真だけでなく、それを撮影する過程も紹介していただいたことは、大変有意義でした。力強い写真を撮るためには、大変苦労や努力があることも理解できました。

今回のフォトライブは、人権・同和教育参観日、150周年記念行事にふさわしい内容でした。松本紀生さん、誠にありがとうございました。

【3年生の感想】

土曜日、150周年記念集会を行いました。一番心に残ったのは、フォトライブです。アラスカには、日本にはいないたくさんの種類の動物がいることが分かりました。松本さんが撮った写真や動画を見て、世界にはこんなに自然あふれる場所があるんだと思いました。土曜日の150周年記念集会で、たくさんの人たちののおかげで潮見小学校が150周年を迎えられたことが分かりました。これからも潮見小の歴史が続いてほしいと思います。

